

第4章 環境施策の進捗状況

1 低炭素社会の構築

(1) 温室効果ガス削減の推進

目標項目	目標	目標の達成状況			評価
		2013年度 (平成25年度) (基準年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	
市域の温室効果ガス総排出量	2020年度までに2013(平成25)年度の排出量から5%以上削減する。(※)	2,106万トン-CO ₂	1,901万トン-CO ₂ ▲9.7% (暫定値)	2020年度に算定予定	・目標達成の見込。 ・引き続き、「大阪市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕」に基づき、取組みを進める。
市役所の温室効果ガス総排出量	2020年度に2013(平成25)年度比8.4%削減する。	100.1万トン-CO ₂	89.8万トン-CO ₂ ▲10.3%	89.2万トン-CO ₂ ▲10.9%	・目標達成に伴い、2019年3月に目標値を20.1%削減に上積み改定。 ・引き続き、「大阪市地球温暖化対策実行計画〔事務事業編〕」に基づき、取組みを進める。

※ 2017年3月改定の「大阪市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕」の目標である。

※※ 温室効果ガス総排出量は、「大阪市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編・事務事業編〕」の算定手法を用いて求めたものである。

(2) おおさかエネルギー地産地消プランの推進

目標項目	目標	目標の達成状況			評価
		2012年度 (平成24年度) (基準年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	
電力の地産地消 (供給力の増加と需要の削減)	2020年度までに2012年度基準で、府域で+150万kWを創出する。	—	+97.3万kW (64.9%)	+110.1万kW (73.4%)	・計画達成に向かって推移。 ・引き続き、「おおさかエネルギー地産地消プラン」に基づき、取組みを進める。

※ () 内は進捗率

2 循環型社会の形成

目標項目	目標	目標の達成状況			評価
		2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	
一般廃棄物の減量化	ごみ減量目標・2025年度の年間ごみ処理(焼却)量:84万トン(※)	90万トン	90万トン	93万トン	・計画達成に向かって推移。 ・「大阪市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、取組みを進める。

※ 2016年3月改定の「大阪市一般廃棄物処理基本計画」の目標である。

3 快適な都市環境の確保

(1) 都市環境の創造

目標項目	目標	目標の達成状況			評価
		2012年度 (平成24年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	
都市公園の市民一人あたり面積	2015(平成27)年度末:約3.6m ² 2025年度末:約4.0m ² 将来:約5.0m ²	3.51m ²	3.51m ²	3.51m ²	・公園面積は増加しているが、人口も増加しているため横ばい状態である。 ・引き続き公園緑地の拡大に努める。

(2) ヒートアイランド対策の推進

目標項目	目標	目標の達成状況			評価
		2014年度 (平成26年度) (2012~2016年度)	2015年度 (平成27年度) (2013~2017年度)	2016年度 (平成28年度) (2014~2018年度)	
熱帯夜の発生日数 (5年移動平均) ^{※1}	2025年度までに地球温暖化の影響を除外した熱帯夜日数を2000(平成12)年(37日)より3割減らす。	29日	28日	27日	・計画達成に向かって推移。 ・「おおさかヒートアイランド対策推進計画」に基づき、取組みを進める。

※1 その年および前後2か年を含めた5か年の平均値

※2 表中の日数は、大阪市、豊中市、枚方市の3地点での平均日数

(3) 都市環境の保全と改善

目標項目		目標	目標の達成状況 ^{※2}			評価
			2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	
大気環境						
※1 一般局	二酸化窒素	環境基準の達成 (100%)	100%	100%	100%	・二酸化窒素、浮遊粒子状物質については目標達成、微小粒子状物質については、一部非達成の地点が存在する。 ・引き続き、目標の達成維持に努めるとともに、非達成項目については、早期達成に努める。
	浮遊粒子状物質		100%	100%	100%	
	微小粒子状物質		71%	43%	71%	
	光化学オキシダント		0%	0%	0%	
※1 自排局	二酸化窒素		100%	100%	100%	
	浮遊粒子状物質		100%	100%	100%	
	微小粒子状物質	60%	40%	60%		
水環境(生活環境の保全に関する環境基準)						
河川	全河川のBOD	環境基準の達成 (100%)	100%	100%	100%	・全地点で目標を達成。 ・引き続き、目標の達成維持に努める。
海域	海域のCOD	環境基準の達成 (100%)	100%	100%	100%	
水環境(人の健康の保護に関する環境基準)						
人の健康の保護に関する環境基準達成状況		環境基準の達成 (100%) ^{※3}	100%	100%	100%	・全地点で目標を達成。 ・引き続き目標の達成維持に努める。
ダイオキシン類						
大気			100%	100%	100%	・改善傾向にあり、平成30年度は全地点で目標を達成。 ・引き続き、目標の達成維持に努める。
公共用水域	水質	河川	95%	95%	100%	
		海域	100%	100%	100%	
	底質	河川	90%	95%	100%	
		海域	100%	100%	100%	
地下水質			100%	100%	100%	
土壌			100%	100%	100%	
自動車騒音						
自動車騒音に係る環境基準達成状況		幹線道路沿道住居における環境基準達成率の上昇等	94%	95%	—	・長期的には改善傾向だが、近年は横ばい状態。 ・「大阪市環境基本計画」に基づき、取組みを進める。

※1 一般局：一般環境大気測定局、自排局：自動車排出ガス測定局

※2 表中の数値は、〔目標達成局(地点)数/測定局(地点)数〕×100を示す。ただし、「水環境(人の健康の保護に関する環境基準)」は、〔目標達成項目数/測定項目数〕×100を示す。

※3 水環境(人の健康の保護に関する環境基準)については、自然的要因(例、海水の影響)による環境基準の超過は除く。

4 すべての主体の参加と協働

(大阪市の率先行動)

目標項目	取組項目	基準値 (2013年度) (平成25年度)	目標値	実績値 (2018年度) (平成30年度)	達成/ 未達成
大阪市役所の 環境負荷の低減	CO ₂ 排出量	100.1万トン-CO ₂	(2020(令和2) 年度に平成25年 度比8.4%削減)	89.2万トン-CO ₂ (基準値から10.9%削減)	達成
	コピー用紙使用量	254,533千枚	基準値以下	256,740千枚 (基準値から0.9%増加)	未達成
	上水使用量	9,844,504 m ³	基準値以下	7,793,207 m ³ (基準値から20.8%削減)	達成
	廃棄物排出量	40,237トン	基準値以下	39,986トン (基準値から0.6%削減)	達成

※ 大阪市内環境管理計画による取組み

中期目標：2020年度に、温室効果ガス総排出量を基準年度（平成25年度）実績と比べ8.4%削減

前倒して目標を達成したため、2019年4月に計画を改定（令和2年度目標値8.4%削減⇒20.1%削減）

※ CO₂排出量は一部事務組合含む

※ 廃棄物排出量の平成25年度基準値には、公園事務所から発生する「木くず」及び上水処理過程で発生する「浄水発生土」が含まれていないため、2018年度実績値も「木くず」（6,289トン）、「浄水発生土」（11,276トン）を控除し比較している。